

厳しい暑が続いています。ここ数年、真夏日が増え、北海道の夏は過ごしやすいというイメージは過去のものとなりました。皆さまお体に気をつけてお過ごしください。今月もセミナー情報などをお届けします。ぜひ皆さまのものづくりにお役立てください。ものづくりの現場でお困りのことがありましたら、お気軽に工業試験場にご相談ください。

☆☆☆☆☆ 目次 ☆☆☆☆☆

- 【1】技術移転フォーラム2025工業試験場成果発表会 アーカイブ動画の公開
- 【2】ものづくり関連の各種研修会のお知らせ(3件)【参加無料】
- 【3】新人紹介 ～材料技術部 香川研究職員～
- 【4】札幌市からのお知らせ

【1】技術移転フォーラム2025工業試験場成果発表会 アーカイブ動画の公開

本年6月3日に開催した「技術移転フォーラム2025工業試験場成果発表会」の
口頭発表17テーマについて、道総研YouTubeチャンネルにてアーカイブ動画を公開
しております。工業試験場HPからアクセスできますので、ぜひご覧下さい。

◆技術移転フォーラム2025工業試験場成果発表会アーカイブ(工業試験場HP)
<https://www.hro.or.jp/industrial/research/iri/koho/event/2025formindex.html>

◆公開期間: 令和8年(2026年)4月中旬まで

【2】ものづくり関連の各種研修会のお知らせ(3件)【参加無料】

道総研産業技術環境研究本部 ものづくり支援センターでは、道内のものづくり
企業等を対象に、各種研修会を開催予定です。
現在、下記研修会の参加を募集しております。皆さまのお申し込みをお待ちして
おります。

[1] M5Stackで学ぶIoT活用入門研修【※両日参加できる方が対象となります】(締切9/10)

◆日時: 令和7年9月24日(水) 10:00～16:00

令和7年9月25日(木) 10:00～16:00

◆場所: 工業試験場(札幌市北区北19条西11丁目)

◆内容: 5cm四方の小さな筐体に様々な機能が詰め込まれたマイコンモジュール
「M5Stack」を使用して、製造現場など様々な現場での活用に向けたIoTの基礎を
学びます。また、M5Stack独自のブロックプログラミング環境UIFlowや、ローコード
環境Google Apps Script(GAS)を使用して、生成AIによるプログラミング支援の実習
も行います。

◆講師: 金沢大学 大学院自然科学研究科 教授 秋田 純一 氏

◆申込フォーム:

<https://forms.gle/zRdWaWthCU3sTF5G7>

▼詳しい内容はこちらをご参照ください。

<https://www.hro.or.jp/upload/54257/25M5Stack.pdf>

[2] 3Dデジタル造形研修(第1回)(締切9/10)

◆日時: 令和7年9月17日(水) 13:15～15:00

◆場所: 工業試験場 第一会議室+オンライン配信 (zoom)

◆内容: 製造業におけるDX化・デジタル化に重要な3Dプリンターについて、活用方法や
導入事例などの基礎知識を学ぶ研修会を開催します。

第1回は、「おたる水族館」の成功事例を紹介します。水族館の生き物たちを生き生き
とした造形で再現した原型を製作された、おたる水族館の角川氏、本商品の開発を発案
し製造を担っている北海道済生会の土谷氏、トータルプロデュースを手がけた大海氏を
講師として招聘し、開発経緯や製造工程、地域連携や福祉支援への効果についてパネル
ディスカッション形式で分かりやすく解説します。

◆講師: おたる水族館 飼育部長/獣医師 角川 雅俊 氏

社会福祉法人恩賜財団済生会支部北海道済生会 支部事務局

総務企画室兼ソーシャルインクルージョン推進室 兼経営企画室 主任 土谷 浩大 氏
(株)エムバイピークリエイティブジャパン 代表 大海 恵聖 氏

◆申込フォーム:

<https://forms.gle/GmrBp5TrU1cJRVNFA>

▼詳しい内容はこちらをご参照ください。

<https://www.hro.or.jp/upload/54258/253d917.pdf>

[3] 3Dデジタルコンテンツ研修(第2回) (締切9/12)

◆日時: 令和7年9月20日(土)14:00~16:40

◆場所: Microsoft Base 札幌

(札幌市中央区南1条西6丁目20-1ジョブキタビル8階)

◆内容: XR技術の利用は、製造業やものづくり企業、医療、教育に至るまで多岐にわたり、さらなる技術の普及が待たれています。今回は、XR技術の最先端を開発者が身近に感じられるよう、最新のプラットフォームを含めた3Dスキャンを活用したXRコンテンツ開発事例の紹介のほか、Apple Japan主催のハッカソンに参加した若手開発者からビッグテックの現状を紹介いただきます。なお、実際にXRコンテンツやデバイスを体験いただけます。

◆講師: SONY(株) 塩月 拓馬 氏

(株)KOO 高井 凌 氏

ユニティア(株)

代表/N-Lab 所長 レイブン 氏

学生団体Keisei 代表 Nari 氏

◆申込フォーム:

<https://forms.gle/FwkRQ4AY58D37oG17>

▼詳しい内容はこちらをご参照ください。

<https://www.hro.or.jp/upload/54352/250920XR.pdf>

【お問い合わせ先】

道総研 産業技術環境研究本部 ものづくり支援センター

電話: (011)747-2324 / FAX: (011)726-4057

E-mail: kaihatsu@hro.or.jp

[3] 新人紹介 ~材料技術部 香川研究職員~

今年4月より材料技術部化学プロセスグループに配属になりました、香川晃輝と申します。出身は香川県で、昨年、豊橋技術科学大学の応用化学・生命工学専攻で修士課程を修了し、北海道へやって参りました。大学在籍時には、発電所や工場での利用を想定した二酸化炭素吸着回収装置において、装置内に充填されている吸着剤が二酸化炭素を吸着したときに発生する熱を利用して装置の温度をコントロールすることで、二酸化炭素の回収効率を向上させる研究を行っておりました。これからは、大学で得た吸着現象に関する知識や経験を生かしつつ、今後も発展が期待されているファインセラミックスに関する知見を深め、研究開発や技術支援を行ってゆきたいと考えております。まだまだ未熟者ですが、北海道の産業の発展に貢献できるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【4】札幌市からのお知らせ

「ものづくり企業先端産業参入支援補助金」第2回公募開始について

札幌市では、今年度から初実施となる「ものづくり企業先端産業参入支援補助金」の第2回公募を開始いたしました。本補助金は、高度な技術を要し、かつ今後の需要拡大が期待される産業(航空機や宇宙、半導体、洋上風力分野等の「先端産業」)及びその関連産業へのものづくり分野(製造・建設)における市内企業の参入を支援することを目的として、参入前後に必要な取組を補助するものです。

◆公募締切: 令和7年9月26日(金)12:00必着

◆対象企業: 製造業または建設業を営む市内に本社を有する中小・中堅企業等

◆対象事業: 先端産業及びその関連産業への参入前後において必要な取組であり、かつ以下の各号のいずれかに該当する取組とします。なお、複数の取組を補助対象事業とすることができます。

- | | |
|----------------|---------------|
| ①市場調査に係る取組 | ②人材育成に係る取組 |
| ③機械設備等の導入に係る取組 | ④認証取得・更新に係る取組 |
| ⑤展示会出展に係る取組 | ⑥試験製造に係る取組 |

- ◆補助上限:100万円以内
- ◆補助率:1/2
- ◆参考:第1回公募では、航空・宇宙・防衛産業に参入するための国際認証「JIS Q 9100」の取得を目指す取組を採択しました。

▼詳しい内容はこちらをご参照ください。

<https://www.city.sapporo.jp/keizai/seizo/shien/sentansangyo.html>

【問合せ先】

札幌市 経済観光局 産業振興部 産業振興課 ものづくり産業係

電話:011-211-2392

E-mail: monodukuri@city.sapporo.jp

=====

■□■ このメールマガジンについて ■□■

登録内容の変更や、アドレスを登録した覚えのない方は、お手数ですが下記のメールアドレスにご連絡ください。

変更の手続きを行ったにもかかわらず、行き違いにより配信される場合がございます。ご了承ください。

▼購読申込・変更・配信停止はこちら

iri-johoteikyo@ml.hro.or.jp

◎皆さまからのご意見、ご質問、ご感想などをお待ちしております

[編集・発行]

(地独)道総研 産業技術環境研究本部

ものづくり支援センター 技術支援部工業技術支援G

E-mail: iri-johoteikyo@ml.hro.or.jp

ホームページ:

<https://www.hro.or.jp/industrial/research/iri/index.html>

=====